

仙台製油所の生産再開について

当社(社長:木村 康)は、東日本大震災の影響で石油製品の生産を停止していた仙台製油所(所長:山口 亮)において、本格的に生産を再開しましたので、お知らせいたします。

仙台製油所は、3月11日の震災における地震と津波の影響により、約1年にわたり生産を停止しておりました。このたび、関係者のご支援・ご協力を賜りながら、当社グループ一丸となり復旧作業に取り組んできた結果、本格的な生産再開を果たすこととなりました。

これにより、当社グループ全ての製油所が、震災以前の生産体制に復旧しました。

仙台製油所の復旧にあたっては、津波の影響を受けにくい場所への陸上出荷設備の移設、電気系統への津波対策などを講じており、今後はさらに、出荷設備の完全復旧や、新エネルギーの導入などを進めてまいります。

当社は、東北地方唯一の製油所である仙台製油所における石油製品の生産・供給を通じ、宮城県はもとより、東北地方の復興に貢献してまいります。

記

1. 仙台製油所概要

住所 : 宮城県仙台市宮城野区港五丁目1番1号
原油処理能力 : 14.5万バレル/日
操業開始 : 1971年7月

2. 復旧までの経緯

2011年 3月11日 東日本大震災により被災、稼働停止
5月 3日 暫定出荷設備(9レーン)による一部製品の陸上出荷再開
7月28日 復旧計画の発表
【コンセプト】(1)一刻も早い生産再開
(2)災害対応力の向上
(3)新エネルギーの導入
9~10月 冬場の供給に向けた体制の整備(出荷設備を36レーンに増強・備蓄増強など)
2012年 1月14日 装置試運転開始
3月 9日 本格的な生産再開

3. 今後の取り組み

出荷設備の完全復旧(2012年2月現在37レーンを52レーンに増強、2012年秋完成予定)
事務所棟への新エネルギーシステム導入、メガソーラー建設検討 など

以上

● 別添資料

 (参考)仙台製油所復旧に際する主な取り組み(PDF:140.2 KB/1ページ)